

数理システム工学特論レポート 第7回

氏名: 市野 晴之

学籍番号: 281567038

1. 第1回レポートの p' (16bitの乱数)と p (p' より大きい素数)について、 $(p')^{-1} \bmod p$ を求めよ。

第1回レポートの間2のプログラムに拡張ユークリッドの互除法とそれを用いた乗法逆元を求める機能を実装した。以下にプログラムの実行結果を示す。またプログラムは別紙1を参照。

```
MacBook-Pro-2:report07-mse Haru$ python3 ex1.py
p' = 42789
p = 42793
p'^-1 mod p = 10698
```

2. 拡張ユークリッドの互除法について、数学的帰納法を用いて、 $a_i = a_0x_i + a_1y_i$ を示せ。

問より、

$$a_i = a_0x_i + a_1y_i \dots (1)$$

$i=0,1$ を(1)式に代入

$$a_0 = a_0x_0 + a_1y_0 = a_0 \times 1 + a_1 \times 0 = a_0 \dots (2)$$

$$a_1 = a_0x_1 + a_1y_1 = a_0 \times 0 + a_1 \times 1 = a_1 \dots (3)$$

次に、 $i=k, k-1$ のときに(1)式が成り立つと仮定すると

$$a_{k-1} = a_0x_{k-1} + a_1y_{k-1} \dots (4)$$

$$a_k = a_0x_k + a_1y_k \dots (5)$$

$i=k+1$ の場合を、(4),(5)式を用いて拡張ユークリッドの互除法を適用する

$$\begin{aligned} a_{k+1} &= a_0x_{k+1} + a_1y_{k+1} \\ &= a_0(x_{k-1} - q_{k+1}x_k) + a_1(y_{k-1} - q_{k+1}y_k) \\ &= (a_0x_{k-1} - a_1y_{k-1}) - q_{k+1}(a_0x_k - a_1y_k) \\ &= a_{k-1} - q_{k+1}a_k \end{aligned}$$

従って、(1)式は成り立つ。